

## 越生町くらしのガイドブック 発行によせて

このたび、町内外の事業所ならびに団体のみなさまのご協力により、『越生町くらしのガイドブック』を発行できたことに心から感謝を申し上げます。

このガイドブックの発行は、株式会社ゼンリンとの官民協働事業として行ったもので、経費は事業所や団体のみなさまからの広告費用ですべてを賄い、公費の負担はございません。

本誌は、町民のみなさまが日常生活に必要な各種手続きなどの行政情報のほか、町内のおすすめスポットなどの

地域情報、さらに町の詳細な地図など、さまざまな情報を1冊にまとめた情報誌です。

町民のみなさまには、本誌をお手元に置かれ、有効にご活用いただき、越生町での暮らしを実りあるものにしていただければ幸いです。

これからも「町民との協働による暮らしやすさと活力のあるまち」を目指し、住み良い環境づくりを推進してまいりますので、ますますのご理解とご協力をお願い申し上げます。



越生町長

かつひろ  
**新井 雄啓**

町長あいさつ



町のプロフィール

## 沿革

明治22年に、町村制施行により9か村が合併して越生町に、また、8か村が合併して梅園村が誕生しました。その後、昭和30年に両町村が合併して現在の越生町になりました。

## 地勢

越生町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、首都50km圏にあります。面積は、40.39km<sup>2</sup>で、東は鳩山町、南は毛呂山町、西は飯能市、北はときがわ町に接しています。外秩父山地と関東平野の接点にあり、町土の約7割を山地が占め、町のほぼ中央を越辺川が貫流しているため、地形の変化に富み、豊かな自然に恵まれています。

町の一年は、早春の梅から始まり、桜、山吹、つつじ、あじさい、曼珠沙華、さるすべり、秋の紅葉、ゆずの香りへと移っていきます。名所としては、関東三大梅林の一つに数えられている越生梅林、日本観光百選に選ばれている黒山三滝、太田灌漑ゆかりの山吹の里、関東地方第1位の巨樹・上谷の大クスなどがあり、風光明媚な地として知られています。

## 越生町章



昭和48年2月19日、一般公募により制定されました。

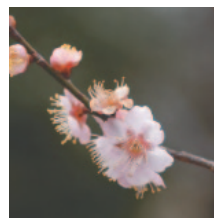
みどりや山と川の流れを「生」の文字で表現し「越」を両手で抱き上げ町民の友愛と明日への町の発展を象徴したものです。

## 越生町の花・木・鳥

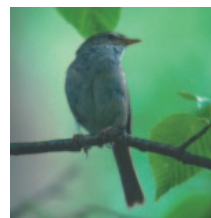
花は「やまぶき」、木は「うめ」、鳥は「うぐいす」です。昭和61年2月に指定されました。



やまぶき



うめ



うぐいす

## 越生町のマスコットキャラクター

「うめりん」は越生町の町制施行120周年を記念して誕生したマスコットで、越生町の特産物である梅がモチーフです。

梅の美味しさを広めるために、梅干を保存している壺から出てきた妖精です。

## ハイキングのまち・おごせ

越生町では、ハイキングによる観光の振興、地域経済の活性化、町民のみなさんの健康づくりなどを目的に、平成28年4月29日に、全国で初めて「ハイキングのまち」を宣言しました。越生町は豊かな自然、多くの歴史文化遺産、観光資源に恵まれていることから、これらの環境を活かして、さらなるハイキングのまちづくりを推進していきます。

### 越生町ハイキングのまち宣言

越生町は、関東平野と外秩父山地の出会いの所であり、町の中央を流れる越辺川とその支流によって地形の変化に富み、豊かな自然に恵まれ、数多くの名勝地と歴史文化遺産があります。

そのため、森林浴や川のせせらぎ、四季折々の花と景観、名所などを巡るハイキングコースがたくさんあります。

私たちは、このような素晴らしい町に住んでいることを誇りに思い、歩くことを通して健康な心と体をつくりたい。また、町外から訪れる皆様を、町をあげておもてなしの心で歓迎し、賑わいのあるハイキングのまちづくりを推進していくため、ここに「ハイキングのまち」を宣言します。

平成28年4月29日

## 町役場の所在地・開庁日時

所在地	〒350-0494 埼玉県入間郡越生町大字越生900番地2【1図B-3】
電話番号	049-292-3121（代表）
開庁日時	月～金曜日（年末年始・祝日を除く） 午前8時30分～午後5時15分
土曜開庁	町民課・健康福祉課・子育て支援課・税務課の業務。 土曜日が祝日にあたる場合は、開庁しません。 午前8時30分～正午（受付は午前11時30分まで） ※業務によっては、受付できないものもあります。 詳しくは、各担当へお問い合わせください。